



にこにこだより

令和2年2月

社会福祉法人東京児童協会 船堀中央保育園

〒134-0091 江戸川区船堀 2-23-10

TEL 3680-1441 FAX 3680-1618

立春の前日（2月3日ごろ）は節分です。節分とは、「季節を分ける」という意味で、もともとは立春・立夏・立秋・立冬の前日を指していました。なかでも立春は1年の始まりとして最も重要視され、いつしか節分と言えば春の節分を指すようになりました。

保育園では毎年恒例で2月3日の節分の日、自分たちで作った鬼のお面をかぶって町に繰り出します。「鬼行列」と呼ばれ、近隣の人々に親しまれているかわいい鬼たちです。交番・船堀小学校・鶴の湯（銭湯）・稚山工務店（保育園をきれいにさせていただいている町の工務店）・町会などに挨拶をして歌を披露したりしながら、地域の人たちと交流を深めています。この行事によって地域の人たちも保育園に目を向けていただき、声を掛けてもらうことで子どもたちも色々な人との関わりを持つことができます。この地域にずっと暮らしている方から、「なにになに？ああ今日は節分か〜と立春を迎えたことを気付かせてもらいました」とお礼の電話をもらったこともありました。園の子どもたちだけでなく、地域の方々にも季節の歳時記を伝えていきたい大切な行事の一つです。

幼児の子どもたちは12月末からお面づくりを始め、1月中旬には仕上がった年長のお兄さん、お姉さんが自分のお面を持って、乳児クラスに行く姿がありました。はじめは、乳児クラスの子が怖がって先生にしがみつく姿がよく見られていました。その姿をみて、『小さな子にそんな嫌な思いさせないで』と言うと、年長の子が『ちがうよ！はじめはお面を見せているだけ…。僕たちの鬼のお面に慣れていれば、鬼行列の時に泣かなくていいでしょう？豆まきが嫌な思い出でなくて、楽しいと思ってほしいんだよ！』と言われました。確かに今の年長の子は節分を嫌がり怖がっていた子たちだったな…。と職員と話をしていました。その子たちが自分の経験から楽しめるまでにどうしたらいいのかを考えていたようです。今では、乳児クラスで豆まきの練習を楽しんでいます。乳児クラスの子どもの笑顔を見て年長の子も喜んでいて、どの子も鬼行列を楽しみに待つ環境を年長の子が作ってくれているなと思いました。園全体のこの行事が私自身も楽しみです。

☆2月の行事予定☆

- 3日 鬼行列
- 4日 身体測定（3・4・5歳）
- 5日 身体測定（0・1・2歳）、避難訓練
- 6日 0歳児健診、スポーツ教室「アルティメット」（5歳児）
- 7日、14日 大きくなった会リハーサル
- 10日 造形（5歳）
- 13日 誕生会「お団子コロコロ」
- 19日 親子観劇会（5歳）
- 20日 0歳児健診
- 22日 大きくなった会
- 26日 体育指導（3・4・5歳）
- 27日 お別れ遠足（5歳）
- 28日 異文化交流（3・4・5歳）、カウンセリング

☆お知らせ☆

- ・2月10日～26日の間立正短期大学の実習生（卒園児）が1名入ります。
- ・5歳児対象に、姉妹園とのお別れ遠足があります。当日はお弁当持参となります。詳細は後日掲示をご覧ください。
- ・はいチーズの撮影が3日、7日に入ります。



2月の保育



- <目標> ・言葉や動作で自分の思いを伝え、やり取りをすることを楽しむ。
 ・天候の良い日には戸外に出て身体を動かし、冬の自然に触れる。

<先月の子どもの姿>

園庭では、年上児と一緒に皿やカップを広げおままごとを楽しむ様子や小山を登ったりボール遊びをしたりと活発に遊ぶ姿が多く見られています。

室内では、プレイマットに真剣な表情を見せながら一生懸命登る姿やトンネルの中に入り、「ばあ！」と言いながら顔を出し、可愛らしい笑顔を見せています。

又、野菜の名前や乗り物の名前等、保育士等の模倣をしながら「バナナ」、「電車」等と発語している姿が沢山見られるようになってきています。

<お楽しみ>

- ・大きくなった会に向けてリズム体操を保育士等と一緒に楽しもう。
- ・個人マークの手作り絵本を見て自分のマークを知ろう。
- ・節分の季節の歌や新聞紙のボールを使った豆まきを保育士等と一緒に楽しもう。 (記：月居 あづさ)



- <目標> ・保育士等に手伝って貰いながら自分で出来る事を少しずつ増やす。
 ・リズム体操等を踊ったり、戸外で十分に身体を動かしたりする。

<先月の子どもの姿>

味噌汁の具が苦手で残してしまう子どもがおり、少しでも食べてもらいたいという思いで簡単な味噌汁のクッキングを行いました。若布を水の中に入れて大きくなる様子を見たり、しめじをさいたり、出汁や味噌の匂いを嗅いだりしています。子ども達にはどれも新鮮で、出汁の中に味噌を入れ溶ける様子を見ると「なんでなくなっちゃったの？」若布が大きくなると「おおきくなった」と不思議に思う子どもの姿が見られ興味津々に参加していました。自分達が作った味噌汁が給食に出ると「おいしい」とほとんどの子どもが完食する事が出来ました。

<お楽しみ>

- ・花紙を使用して作った鬼のお面を被って豆まきを楽しもう。
- ・ひよこ組のお部屋へ遊びに行こう。
- ・大きくなった会では、衣装を着て親子でリズム体操を楽しもう。 (記：須賀 美穂)



- <目標> ・友達と一緒に遊ぶ楽しさが分かり、ごっこ遊びや簡単な集団遊びを楽しむ。
 ・冬の自然に触れ、戸外で元気に遊ぶ。

<先月の子どもの姿>

制作では「これがおめでここがおくち」等と言いながら雪だるまの顔を描いた後、フィンガーペイントで雪を付けました。「かわいいゆきだるま、ぱばとままにみせる！」と完成に喜ぶ姿がありました。また、ひよこ組の部屋では、皆で大きな鬼の顔をクレヨンで塗った後に壁に貼って、豆まきごっこをしました。壁の鬼や鬼に変身した保育士等に向かって「おにはそと！ふくはうち！」と大きな声を出しながら新聞紙で作った豆を投げて楽しみましたよ。

<お楽しみ>

- ・鬼のお面を付けて鬼行列に参加して、豆まきをしよう。
- ・ハサミやクレヨンを使って梅の花の制作を楽しもう。 (記：関野 太靖)



<目標>・鬼行列に参加しよう。

・発表会に向けて一生懸命練習を頑張ろう。

<先月の子どもの姿>

○花組

季節の制作ではスポンジと絵の具を使用してペイントをし、羽子板を作りました。正月の遊びを保育士等から教えてもらい、「どうやってあそぶのかな?」「ふしぎなかたちだね」等と友達と興味津々に話していました。

発表会の練習では、「きょうダンスしますか?」「じょうずにおどれるよ!」等と保育士等や友達と話しています。リズムに合わせて身体を動かし、発表会に向けて楽しく練習をしています。

○星組

鬼のお面の制作では、画用紙を使ってお面を作っています。「かっこいいのをつくる!」「わたしは〇〇いろがいいな!」等と自分達で色を決めて、丁寧に画用紙を折り素敵なお面を完成させる事が出来ました。

戸外遊びでは、積極的に友達と集団遊びをして遊んでいます。ボール鬼では「せんせい、かんたんによけられるよ!」等と身体を上手に動かし、ボールをよけ楽しんでます。

○月組

発表会に向けて、「たくさんはくしゅをもらいたい!」「かっこいいおにいさん、おねえさんになったすがたをみてほしい」等と一人一人が、意識して一生懸命練習に取り組んでいます。

スポーツ教室では、空手を教えてもらいました。「せいっていうんだよ!」「しせいがかっこよく!」等と教えてもらった事を意識しながら参加し、スポーツの楽しさを身体で感じ楽しんでます。

<お楽しみ>・手作りのお面をつけ、鬼行列に参加しよう。

・発表会を楽しもう。

(記:佐野 駿太)



【保健】



知っておこう!

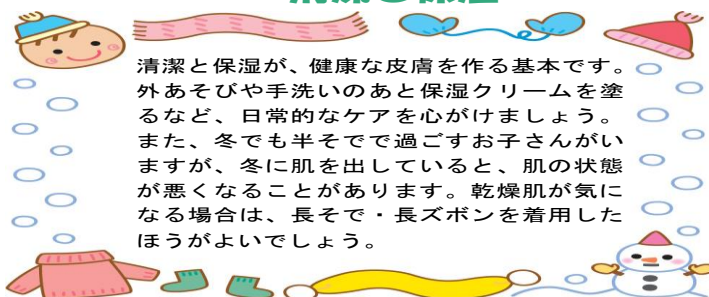
冬は空気が乾燥し、皮膚がかさかさや荒れ、かゆみが出ることがあります。園でも日常にお子さまの手洗い等に気を配っていきますが、ご家庭でも、外出から戻ったときやお風呂上がりなど、保湿ケアを心がけていただくよう、お願いします。

子どもの肌が荒れやすいワケ

子どもは、肌のバリア機能が未発達なので、乾燥すると、そのバリア機能がどんどん失われるため、荒れていくのです。肌を保護するバリアがない状態なので、乾燥肌が進むと、あかぎれや発疹など、さまざまな皮膚トラブルが出やすくなります。



スキンケアの基本は、清潔と保湿



清潔と保湿が、健康な皮膚を作る基本です。外あそびや手洗いのあと保湿クリームを塗るなど、日常的なケアを心がけましょう。また、冬でも半そでで過ごすお子さんがいますが、冬に肌を出していると、肌の状態が悪くなることがあります。乾燥肌が気になる場合は、長そで・長ズボンを着用したほうがよいでしょう。

新型コロナウイルス肺炎



中国発生の新型コロナウイルスによる肺炎が各国に感染拡大してきています。発熱、咳等の呼吸器症状が出現し基礎疾患のある方、高齢者は重症化する場合があります。

予防対策はインフルエンザと同様に、「手洗い・うがい」とマスク、咳エチケットが基本となります。

アルコール消毒はインフルエンザと同様に有効と言われています。

登園時、お迎え時の玄関でのアルコールの手指消毒のご協力をお願いします。

～節分について～

節分とは「季節を分ける」という意味があり、四季でそれぞれあります。しかし、2月3日の春の節分は一年の区切りとし、特に大切にされてきました。現在、一般的には冬から春の変わり目の「立春」の前日を「節分」と呼び、新しい季節(歳)を迎えるために豆まきや節分飾りで鬼や邪気を払う習慣とされています。

\\それぞれの由来と習慣//

節分の鬼とは…

冬の寒さや病気など、人に災いをもたらす悪いものすべてを表すといわれている。

なぜ豆まき…?

悪いものを追い払い、福を呼び込むために行う。

大豆には、たくさんの栄養が含まれており、鬼を追い出す力があると考えられていた。



節分豆と恵方巻…

「豆」：自分の歳の数だけ食べると、身体が丈夫になり病気になりにくいと言われている。

「恵方巻」：節分の日の夜に、その年の恵方を向いて願いを込めながら一言も話さずに食べると願いがかなうともいわれている。

やいかがし…

魔除けのために飾る。鰯の焼いたときの匂い、柊のトゲで鬼(邪)を払うとされている。



園でも大豆や鰯を食べて、身体の中から鬼(邪気)を払います。

ご家庭でも豆まきで鬼を払い、恵方巻を食べて新しい1年の福を招きましょう♪

～大豆を食べよう～

カルシウム

大豆は「畑の肉」と言われるほどタンパク質が多く、肉類には含まれない食物繊維がたくさん含まれています。

イソフラボンをよく耳にするかと思いますが、その他に血を形成する鉄分や骨を作るカルシウムも大豆には豊富に含まれており、体作りに不可欠な栄養素です。

また、大豆加工食品である豆腐は血管をキレイにする働きがあり、動脈硬化や心筋梗塞などの予防になります。



豆腐と味噌の和風グラタン

(大人：1人分) ☆材料☆

- ・木綿豆腐 1/2パック
- ・しめじ 1/4パック
- ・玉ねぎ 1/4個
- ・ミックスチーズ 20グラム
- ・パセリ 少々
- ・油

<ホワイトソース>

- ・牛乳 60cc
- ・薄力粉 大さじ2
- ・バター 大さじ2
- ・塩こしょう 少々
- ・味噌 大さじ1

★作り方★

- ①木綿豆腐の水切りを10分程度する。水切り後、2cm角に切る。
- ②しめじ、玉葱は食べやすい大きさに切り、フライパンで火が通るまで炒めて一度取り出す。
- ③牛乳に味噌を溶かし、塩コショウも混ぜて液を作る。
- ④③で使用したフライパンにバターを入れて、全て溶けたところで小麦粉を入れる。小麦粉とバターをまんべんなく炒め、牛乳を入れて焦げないように混ぜるとソースが完成です。
- ⑥お皿に②、豆腐を入れて⑤をかける。オーブンやトースター等で180℃10分程度焼き上げ完成です。



《2月の予定》

✿行事予定✿

- ・節分献立
- ・誕生会献立

✿食育✿

- ・テーマ野菜の話
- ・節分、豆の話
- ・柑橘の紹介

